

江湖詩聞

第一號

定價八分

西垣文庫 特  
文庫 10  
7288



特 文庫10  
7288

江湖新聞

慶應四年辰田四月三日

西園文庫



新聞の隠事秘説といふも嘗て書記做事を以て大い  
有益とされるものなり吾國此為ありざるに已に  
江戸におわても中外新聞内外新聞の二書發刊  
をせしがこれが為小遠境の人といふも今の時勢を  
知るは便とあり度例の宣室何事うこれお忘らん今此  
一書の事蒙拜初の為自身を記を抜筆し加ふる画  
を以てするものいふある大智但身小入りの備ありせば  
藏者の心とをわくるべし其に遮莫次編ふつりるを  
佳境入り入べし新稿を筆發免尚を記ふあると

横濱新聞紙草稿の翻写

過日奥物より来りし人の活あり羽州山形より五六里の  
 在り徳川家の此頃ありて柴橋寛川と云ふ所あり其處  
 ありを寺瀬庄内産一以記すと云り同家より傳へて  
 人数は出せし一系沙より秋田産一右の願地法とる  
 べ死との命ありて多人数出強いし二層掛合中の折柄  
 今般 初は仙臺一以記とお來織田産の老臣吉田素  
 羽留のさあ仙臺一系依せし一前文陣産法とる方の儀也  
 又勅使よりの命せしと云りとて織田家の人数同しあり  
 三層の掛合と云り三層の味しやおなり及び新雲加ふて

佛國新聞紙中  
 日本兵隊之編圖



二月廿六日 大原前侍佐武の田原総持極の痛ありしも  
 未だ其傳を志すべしといふより行旅者小 河野氏の  
 船發共先小押立河野氏の人数は百人と戒嚴に  
 せしむるは 海軍所先鋒とあるせし 白旗翻起し  
 て風にあびるを予多島帽子小旗の東を志し惣持と  
 るふまゝのり佐加廣人救百人など経より致さ  
 一河大川船松原廣の第の若侍あり

頃日大川筋の橋より河原ありて武家の争々姓名を問ふ

西園橋ハ 筑前彦  
 新大橋ハ 紀伊彦  
 大川橋ハ 美濃彦  
 永代橋ハ 薩摩彦  
 石原橋ハ 細川彦  
 運河別ち大原殿松原彦小陣營一あふの故ありんは

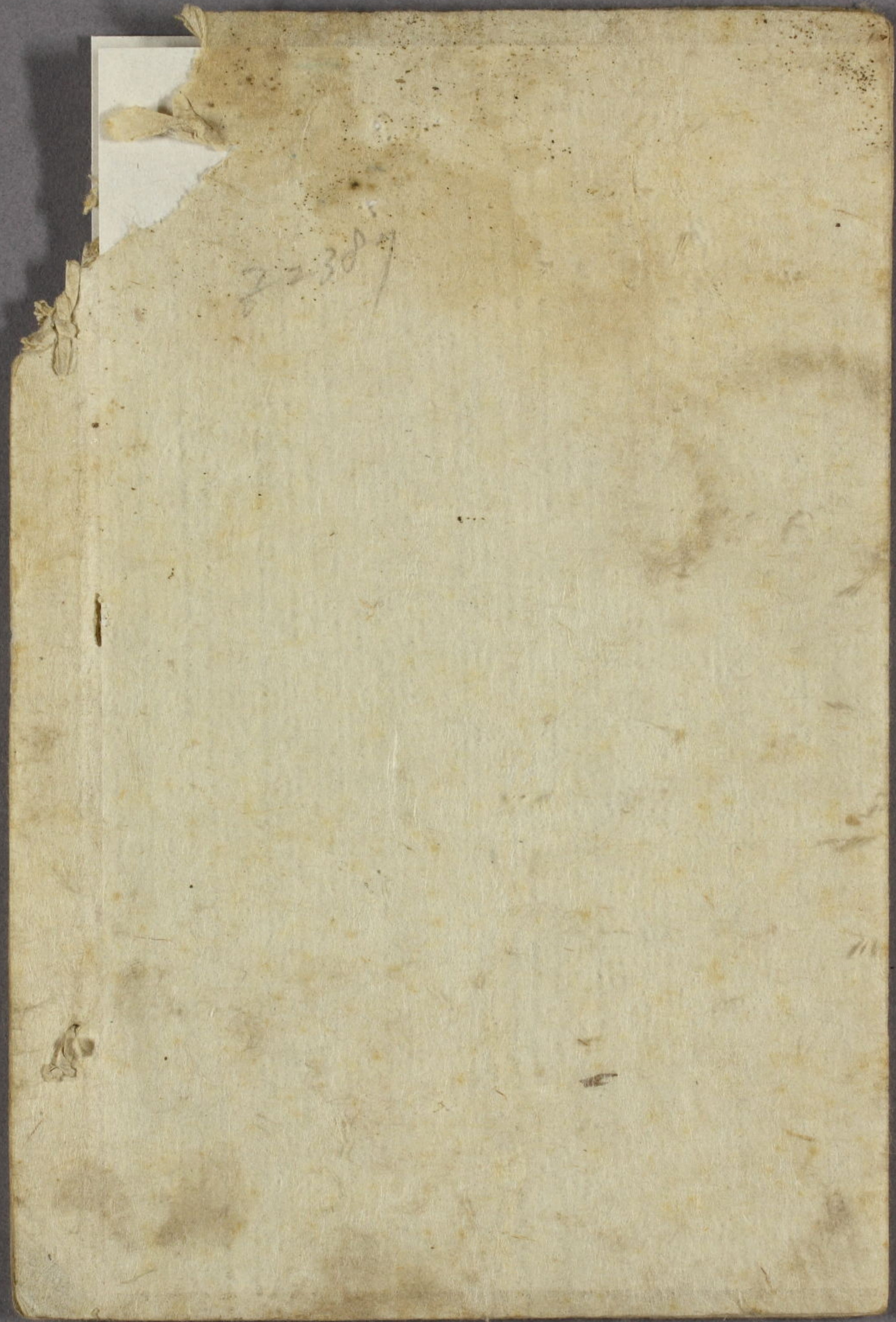
全彦 紀伊彦 河原  
 報彦 河原 彦



英國新聞  
 紙中日本  
 兵隊行列  
 之縮圖







2-389